（令和３年４月１日）

つくし　つめこみニュース

外来担当医表		月	火	水	木	金
	新　患	増谷	北川	桐生	敦賀	永田
	再　来	堀内	増谷	増谷	桐生	堀内
		桐生	敦賀	永田	永田	敦賀
			栗林（午前）	北川	北川	
	電話対応（午前）	― 新　患　担　当　医 ―				

病棟構成	病　　棟		看護師長名
	A病棟	男女混合　閉鎖病棟	成　田　博　幸
	B病棟	急性期・児童青年期 男女混合　閉鎖病棟	山　口　佳代子
	C病棟	男性　閉鎖病棟	柏　谷　真喜子

家族教室のご案内

患者さんのご家族を対象に、病気等について講義をし、情報提供をしています。

また、ご家族同士のグループワーク（自由参加）では、ご家族が抱えている問題について、お互いに知恵を出し合い解決方法をさがしていきます。

日頃様々な不安を抱えて生活されていると思いますが、病気等について知り、共感したり、思いを話したりすることで、ご家族自身も元気になり、自分らしさを取り戻すきっかけにして欲しいと思います。

当院に通院・入院している患者さん（認知症以外）のご家族は、どなたでも参加できます。

事前の申込不要、参加費無料、初めての方も大歓迎です！

※詳細につきましては、主治医又は看護師にお尋ねください。

令和３年度の開催については、院内掲示またはホームページでご確認ください。

入院患者への面会制限のお知らせ

つくしが丘病院では、新型コロナウイルスの感染の予防として、当面の間、入院患者への面会を制限させていただきます。

つきましては、面会は主治医が許可した方のみとし、最大２人まで１５分程度に限ります。

ご理解・ご協力よろしくお願いします。

青森県立つくしが丘病院
〒038-0031 青森市三内字沢部353番地92　TEL 017-787-2121
ホームページ　https://aomori-tsukushigaoka.jp/
アクセス
青森市営バス
・古川バス停から「つくしが丘病院行き」又は「岩渡行き」約20分
タクシー
・JR青森駅から約20分
・JR新青森駅から約５分

すぎな

青森県立つくしが丘病院
第179号

就任のあいさつ

運営室長
田中　雄一

このたび、４月から運営室長に就任しました。よろしくお願いいたします。

私の県庁での経歴で病院関連の業務は、平成７年度から３年間、中央病院での薬品購入担当から始まります。つくしが丘病院とのおつきあいは、平成10年度から２年間、当時の医務薬務課で病院担当業務に携わったときが初めてでした。そのころ、第1期分の建物が建築後20年を越え、建物の維持補修に費用がかかるようになってきた時期で、一番記憶に残っているのが、屋上部分の補修工事の予算を獲得するために財政担当部署に頻繁に通ったことです。

それからおよそ20年を経て、平成30年度から中央病院で3年間、管理課長を務めましたが、久しぶりに来てみると病院の運営方法が大きく変わっており、材料の経費節減や医事業務などに外部のコンサルタントを入れ、全国的な動きや情報を積極的に取入れ、経営に反映していることでした。その他にも、経営改善に結び付く取組であれば、積極的に人や物を投入しており、それが実際に結果にも現れている状況でした。一昔前の中央病院の赤字が常態化している状態から見ると隔世の感がありました。

４月から当院でお世話になっての感想ですが、改築前の病院と比較すると、現在の状況はまさに“あずましく”、また、築後40年になろうとする中央病院から異動してきた者にとっては、建物・設備がピカピカに輝いて見えます。

また、中央病院と比較して組織が小さい分、各部署の担当者の顔が見え、小回りが利いて各部署間の連携が取りやすいといったメリットもあるのではないかと感じています。

病院を取り巻く状況では、今年度から中央病院の在り方検討を進める組織が立ち上がり、課題等の整理が行われることとなっており、当院に関連する機能等の部分でも議論されることが予想されます。どのような議論がなされ、その結果がどうなるのかは今の時点では分かりませんが、当院が担っている急性期の精神疾患患者を受け入れながら、患者の円滑な地域移行、さらには社会復帰の促進といった使命は、今後とも変わらないのではないかと思います。

病院を運営する上で、新型コロナウイルス対応などいろいろ課題があるなか、微力ではございますが、堀内院長のもと職員の皆様と一緒に、当院が引き続き県民の皆さんからの期待に応えられる病院であるように努めていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ニューフェイス転入者紹介

「ごあいさつ」

急性期・救急診療科
医師　永田　裕也

はじめましての方も、そうではない方も、こんにちは。４月より再び、つくしが丘病院で勤務させていただくこととなりました、永田裕也と申します。2015年4月～2020年3月の間にもつくしが丘病院で勤務させていただいていたので、１年ぶりに戻ってきました。

この１年は県立中央病院メンタルヘルス科で勤務していました。当院は精神科単科病院ですが、県立中央病院メンタルヘルス科では急性疾患や進行性疾患などの身体疾患を併存する患者さんを中心とした診療を行っており、当院とはやや異なる役割も担っています。これまでとは違う環境で当初は常勤医１人での勤務であったため、不安や戸惑いだらけの毎日でしたが、周りのスタッフに力強く支えていただきまして、激動の１年を乗り越えることができました。

また、他の診療科との連携など総合病院の中での精神科医の在り方につきましても、身をもって経験することができました。県立中央病院メンタルヘルス科のスタッフのみなさまには、今でも感謝してもしきれない気持ちでいっぱいです。

つくしが丘病院から離れていたのは”たったの１年だけ”と思っていましたが、勤務を再開してみて様々な変化を感じています。最も大きな変化としては、新型コロナウイルス感染症対策として、外来診察室にアクリル板の仕切りが取り付けられたり、病棟出入り口に自動検温計・消毒液が備わったりなどしたことです。また、４月中旬から運用開始されたばかりですが、外来での呼び出し番号表示・音声呼び出しシステムが導入され、その他の業務でもこの１年で細かな修正・改善がされていました。

一方で、春には三内霊園の立派な桜を眺めながらの通勤、こころ落ち着く閑静な立地、白を基調とした清潔感のある建物、美味しい水道水、そして再度迎え入れてくれた患者さんや病院スタッフのあたたかさは今でも変わらず、とてもほっとしています。

地域のみなさまの精神医療を支えられるよう、今いちど初心に立ち返る気持ちで日々の診療にあたっていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

Ａ病棟　看護師
技師　高梨　瑞季

この度県病から異動となりました。一日でも早く業務になれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

Ｂ病棟　看護師
技師　小笠原　琢磨

新採用からつくしが丘病院配属となり、異動を経て３年ぶりにつくしが丘病院に戻ってきました。また、つくしが丘病院で頑張っていきますので宜しくお願いいたします。

Ｂ病棟　看護師
技師　奥崎　美千穂

あすなろ療育福祉センターから異動してきました。早く業務を覚え、皆さんに信頼していただけるように努力していきます。

よろしくお願いいたします。

Ｃ病棟　看護師
技師　須藤　真人

今年度、青森県立中央病院より移動となった須藤真人です。精神科の看護は初めてなので少しずつ学びながら成長していけるようがんばりますのでよろしくお願いします。

中央診療室（薬局）
主幹　一戸　圭一

４月に中央病院から異動してきました。精神科医療に携わるのは初めてなので、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、当院に少しでも貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

庶務・管理課
主査　加藤　篤

３年間のブランクを経て、つくしが丘病院の現場に戻ってきました。

これまでの経験を仕事に活かして、頑張っていきますので、よろしくお願いします。

ツユクサと通信簿

院長　堀内　雅之

ツユクサは湿った道ばたや庭などに生える一年草で、花は苞葉にはさまって咲き、３枚の花びらのうち２枚は青紫色（稀に白）で下側の１枚は白くて小さく、全体としてミッキーマウスの形をしています。

小学校低学年の頃のわたしはしょっちゅう「ぜんそく」で学校を休んでいたので、３年生の１学期に初めて直接自分で通信簿を受け取り、休みなれていても夏休みに入る喜びは格別、浮かれた気分で友達といっしょに校門を出ました。道路の向かい側に渡って、ふだんは気にとめない田んぼの脇に咲くツユクサの花を取ろうと、小水路をはさんだ畔にとび移りました。ところが、着地した畔は固い土台にまだ柔らかい泥を盛ったばかりで、両足がズルッと滑り田んぼの中の泥水にグシャッと沈んで尻と背中のランドセルごと後方に倒れ、制服の白シャツも濃紺の半ズボンもランドセルの中身も泥まみれになってしまいました。

友達になぐさめられながらとぼとぼ帰宅したはずですが、あまり記憶がはっきりしません。その後、ことあるごとに母が通信簿を出してきて、くしくも担任教師が記載していた「欠席多いものの‥、活発でおっちょこちょいな面が…」の部分を読み上げ「さすが先生」というのがいやで、風呂のたき口で燃やしてしまいたいほどでした。しかし、そういうこともだんだんなくなり通信簿の行方も不明ですが、今でもツユクサの花を見ると、アイロンをかけたしわ跡のある茶色くまだらになった通信簿の表紙と母の口調を思い出します。

法務大臣感謝状をいただきました

（報告）
院長　堀内雅之

令和３年３月９日、精神鑑定による検察への協力に対する法務大臣感謝状と記念品（銀杯）を拝受しました。COVID-19の状況下でもあり、伝達式や各方面への報告訪問などは遠慮させていただきましたが、職員や多くの関係者の理解と協力に感謝し、すぎな紙上で報告いたします。

ありがとうございました。